

県連ニュース

2021年8月号 NO-529



『風が作り出す雪の文様（シュカブラ） 大山 2021年2月21日』

滋賀県勤労者山岳連盟

2021年 8月号 目次

リレーエッセイ	2
お知らせ	
交流登山企画	5
「ヒアリハット事例研究会」開催について	6
野坂山地・黒谷西尾根 観察会	7
投稿	
風力発電計画のストップにご協力を	8
報告	
第5回 理事会報告	10
第24回全国自然保護講座報告	13
ぐうたら会長のつぶやき	15
8—10月行事予定表	16

表紙の写真：『風が作り出す雪の文様(シュカブラ) 大山 2021年2月21日』

撮影者：湖南岳友会 三崎せつ子氏

シカが造る？山の姿

湖南岳友会 北村 昌文

比良の権現山から蓬莱山のコースは、私が「登山」という意識を持って登った最初のころの山で、50年ほどの前のことです。見晴らしの良い笹原が多い稜線で、春にはツツジがきれいだったように覚えています。その後、ここはもっぱら積雪期に歩くコースとなりましたが、昨年12月に無雪期としては久しぶりに歩いて驚きました。

目につく木はアセビ、下草はイワヒメワラビで、ともにシカが好まない植物です。高木は残っていますが、ツツジのような灌木は見当たらなかったように思います。その代わりに、あちこちにアセビが元気に育っていて、場所によっては登山道の両側をぎっしり覆って、見晴らしのないところもありました。(写真左)

蓬莱山の近くに、調査のためだと思いますが、防鹿柵(防獣ネット)が設置されていました。柵の外はイワヒメワラビで、冬は枯れて茶色になっていますが、柵の中は青々したササと数本の灌木が育っていました。また、周りには、もはやシカの食害を受けない高木しかありません。(写真右)

シカの食害がないと、この付近は柵の中のような姿が広がるのだらうと思います。



【登山道の両側をアセビが覆っています】



【防鹿柵の内側と外側】

このようなシカの食害はあちこちに見られます。

- 京都愛宕山山系の地藏山の頂上付近は、以前は背丈以上のササに覆われていましたが、今は一面のアセビの森(ある意味では見事な)になっています。ササがなくなった原因は分かりませんが、アセビばかりの森になったのはシカの影響ではないでしょうか。
- 京都西山の小塩山のカタクリは、一時シカなどの食害で全滅も心配されたようですが、現在は防獣ネットに守られて復活しています。最近、イノシシの被害も多いようです。
- 山梨県三ツ峠山のアツモリソウは、以前は人の盗掘が問題でしたが、最近はシカの被害が大変のようです。小屋の方が、人と違ってシカはたくさんでやって来て、根こそぎ食べてしまうと言われておられました。
- 四国剣山系の三嶺付近は、以前はウラジロモミが茂っていたそうですが、シカの食害によって枯れ木の山になっているところがあります。以前の姿を知らないのに、展望の良い、広々とした尾

根に感じますが、本来の姿ではないようです。また、笹原には多くの獣道が遠くからでも分かります。

- 奥日光の霜降高原は、ニッコウキスゲの群落があり、名前の由来となったところですが。ここもシカの食害で著しく減少しましたが、今は総延長2kmの防鹿柵の設置によって、復活しました。しかし、広範囲にあったニッコウキスゲも今は柵内だけとなっています。同じ奥日光の戦場ヶ原では、実に17kmの防鹿柵で、約980haもの範囲をシカの被害から守っています。甲子園球場の広さ（スタンドも含めた）の実に250倍ほどの面積を防鹿柵が囲っています。
- シカの食害は3000m級の高山にも及んでいます。南アルプスの荒川岳から赤石岳に向かって降りた2,700mほどのところは高山植物が豊富ですが、ここにも防鹿柵が設置されていて、登山道はその中を通っています。ライチョウもいて高山植物を食べますが、シカとは食べる量が違うのでしょうか。中央アルプス木曾駒ヶ岳の近くの濃ヶ池も2,700mほどですが、ここにもシカ調査用のカメラが設置されていて、驚きました。
- 私が直接見たことではありませんが、芦生の研究者によると、京都北山の芦生原生林の自然も危機的な状況になっているそうです。ブナ林の林床を覆っていたササが、シカに食べつくされ、代わりにシカの食べないイワヒメワラビに覆われ、ブナの稚樹も食べられて、林床に後継樹が育っていないということです。

他にもシカによる影響は全国的にあるだろうと思います。

奈良公園ではシカが自分の口より下の枝や草を食べてしまって、シカの口の高さの線（ディアライン）から下はすっかりとした見通しの良い風景になっています。最近、比良などの山を歩いていると、以前に比べると見通しの良い、ある意味で気持ちの良い森が増えてきて、深い藪が少なくなっているように思います。これもシカの食害の影響かもしれません。

私たちが自然の風景と思うものも、実はシカが造った自然を楽しんでいるのかもしれませんが

シカの増えた原因として、オオカミの絶滅、温暖化の影響、一時シカを過度に保護したこと、ハンターの減少、農山村の人口の減少など、様々に言われていますが、一つの理由では簡単に説明できないようです。オオカミがもともといなかった屋久島でもヤクシカが大繁殖しているそうです。シカなどの野生動物を人が食べなくなったのはごく最近のことで、これまでの歴史上、異常なことという研究者もいます。

ただ、いずれにしてもシカの増加の原因は、人の活動の変化であることは間違いありません。

山の風景については宅地開発、ゴルフ場などの乱開発や、逆に薪炭林として利用しなくなって人の手が入らないことによる荒廃、さらには地球温暖化による影響が問題でしたが、1990年代からのシカの急速な増加により、近年ではシカが山の風景を決める時代になってきているようです。今はシカのおかげ？で、見通しのよい明るい風景かもしれませんが、いずれ高木がなくなれば、シカの好まないアセビのような木ばかりが残り、季節の変化もない、つまらない風景が広がるかもしれません。また、そこに住む動物も大きく変わるでしょう。

次第に単純には解決が難しい問題が増えているようで、さて、シカの被害をどうしようかという、簡単な答えはないようです。放置しておいてシカに任せるというのも一つの自然でしょうが、それは私たちの多くにとって、好ましいと思える自然にはならないでしょう。

シカを減らすために、私たちが日常の生活でできることはほとんどなく、根本的には人と森との関係を変えることが必要でしょうが、それには社会や経済のあり方から変えないと難しいでしょう。

とりあえずは人間の勝手ですが、シカの頭数を減らすことしかありませんが、ハンターも少なく、

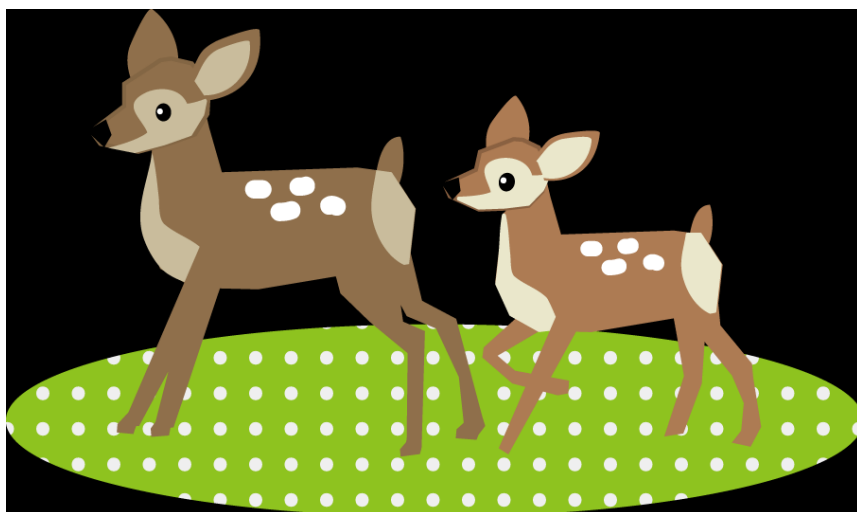
経済的にも採算が合わないようです。もっとも、将来的には牛肉などが食べられない時代が来るかもしれません（環境省の資料によると、牛肉 1kg を作るのには、水が20トン必要といわれており、こんな食文化は今の流行の言葉でいえば、持続可能とは思えません。）。その時は、蛋白源として争ってシカを捕って、逆に絶滅させるかもしれません。

人というのは本当に厄介な生き物です。

ある高名な霊長類の研究者が、人は万物の霊長といわれることがあるが、それは間違っている、人は生物としてみれば、非常に不完全な種である、というようなことを言っておられました。

登山祭典のお知らせ

コロナ下ですが今年も **10月24日** に**登山祭典** が実施されます。詳細は来月の県連ニュースに掲載されると思いますが、今から予定表に書き入れてたくさんの方に参加していただきたいと思います。**最低限の感染対策はして参加してください。**



新しい試みです

交 流 登 山



◎「交流登山」とは……県連の各会はそれぞれ会独自の活動を行っておりますが、このたび各会の枠を超え、他会員が他の会の指定山行に参加できるようになりました。(但し、交流登山指定山行のみ)

◎「参加の申し込み方法」……行ってみたい山行の申込先へメールで申し込むだけです。

申込みは→「所属会名・氏名・住所・生年月日・ケータイ番号」などをメール！(詳しくは下記の通り)

日 程	9月5日(日)	企画	湖南岳友会
山域・山岳名	西方が岳～サザエヶ岳 (福井県・敦賀半島)		
集 合 場 所	1) JR 野洲駅 6:30 2) 竜王 IC 手前のセブンイレブン		
山 行 時 間	約5時間 (下山予定 14:30)		
参 加 受 付	村田/県連理事 k-hiyake@hera.eonet.ne.jp		
受 付 締 切	8月25日(水) ⇒ ※下記の「申込時の注意」を厳守願います		

日 程	9月5日(日) <予備日 9月12日(日)>	企画	滋賀山友会
山域・山岳名	野坂山地 - 黒谷西尾根		
集 合 場 所	道の駅「熊川宿」(国道303号線)(福井県三方上中郡若狭町熊川11-1-1)		
山 行 時 間	約6時間 (下山予定 15:00)		
参 加 受 付	宮内/県連理事 m-miyauchi@ares.eonet.ne.jp		
受 付 締 切	8月29日(日) ⇒ ※下記の「申込時の注意」を厳守願います		

日 程	9月12日(日)	企画	彷徨倶楽部
山域・山岳名	千石山 (健脚コース)		
集 合 場 所	1) JR 堅田駅 7:30 2)道の駅「朽木本陣」8:00		
山 行 時 間	約7時間 (下山予定 16:00)		
参 加 受 付	谷内/彷徨倶楽部 tomo-hira3rose@rouge.plala.or.jp		
受 付 締 切	9月6日(月) ⇒ ※下記の「申込時の注意」を厳守願います		

「※申込時の注意」 (申込み・問い合わせは、必ずメールでお願いします)

①所属会名 ②氏名 ③住所 ④生年月日 ⑤携帯電話番号 ⑥集合場所

※申込者の情報は、登山計画書の作成に必要となりますので、間違いのないよう正しく記入願います。

☆詳しくは、次月号で掲載予定です・・・

日程	11月7日(日)	企画	湖南岳友会
山域・山岳名	雨乞岳 (鈴鹿山系)		
山行時間	約7時間 (下山予定 16:00)		

～～梅雨以降は、どんどんと予定が入ってくるでしょう。山行予定に乞うご期待

《案内》

「ヒアリハット事例研究会」開催について

県連教育・遭対部

県連では、以前は「事故事例研究会」を開いていましたが、ここ 2～3 年開催していませんでした。傘下の会員山行からの事故報告・ヒアリハット報告を検証して、会員で情報共有することで事故を防げないかと考えています。お試しで、気軽に参加できることを一番に考えた第 1 回の企画です。コロナ禍で集まるといことは控えて、ZOOM参加研究会とします。

流れ 第 1 回 ZOOM ヒアリハット事例研究会

1. 参加希望の方の多い日程で開催予定。8 月水曜日候補日 4. 11. 18. 25 午後 7 時 30 分～8 時 30 分
2. 参加者にメールで研修する事例を配信する。
3. 事前にメールでの意見を集約する。質問等もメールに書き込みする。返信は担当窓口まで
4. 集約したメールを参加者全員で共有、配信する。
5. ZOOM研修会を開催。参加したいが、z o o mが初めての方は、ご相談ください。
6. 研究集会のまとめを県連ニュースで報告して、情報を共有する。

各会へお願い 今後は、事故一報と同様に、ヒアリハット事例を県連理事長宮内まで報告をお願いします。過去のヒアリハット事例でも、情報共有の面で活用したいと思いますので、提出の程、ご協力よろしくお願ひします。

今回の担当・宮内 申し込み先 m-miyauchi@ares.eonet.ne.jp 〆切 7/28

過去のヒアリハット報告から

自分にも当てはまるヒアリハットではありませんか。注意しましょう。

・ゴールデンウィーク直後の急に気温が上昇した高島トレイルにて
普段より多く水を飲んでいるにもかかわらず、なかなか渇きが治まらず、登山口まであと 20 分ぐらいの所で水が尽きた。登山口まで走って下りたが、動悸と足の引き攣りが止まらなくなった。自動販売機や商店は無く、バスで移動しようにも 1 時間待ちだったので、通りがかった地元の方に頼んでお茶を恵んでもらい、梅干と一緒に飲み干すと回復した。明らかにミネラル不足による熱中症の初期症状だったと思われる。

・比良下山路にて
登山口が近くなった頃、段状になった下りで木の根に足を取られて抜けなくなり、そのまま頭から飛び込む形で下の段に向かって落ちた。手で支えようとしたが縦走ザックの重みも加わって支え切れず、岩で額を打ってコブができた。幸い岩が平らだったので大事には至らなかった。

《交流山行詳細説明》

＊ ＊ 滋賀県連・山友会自然保護部・熊森滋賀共催 第3回観察会 ＊ ＊

野坂山地・黒谷西尾根（～庄部谷山△855.9～・722）

●黒谷西尾根には、登山愛好家の人たちから「マザー・ツリー」との愛称で呼ばれている胸高周囲400cm以上のブナ巨木があります。風力発電計画がそのまま実施されればこの巨木も伐採されます。

●実施予定日：9月5日（日）・予備日9月12日（日）

●集合時間・場所：7：00 道の駅・熊川宿

●コース予定：栗柄関所跡→関電巡視路入口付近P～黒谷西尾根
～（時間があれば、庄部谷山～・722）（往復）

●申し込み、問い合わせは、山友会・宮内まで

＊ 携帯：070-9002-3325 メール：m-miyauchi@ares.eonet.ne.jp

＊ 申し込みの時、予備日も参加できるかどうかお知らせください。

＊ 遠方で早朝参加が難しい人用に、朽木新本陣道の駅付近での宿泊も考えています。

＊一般参加、熊森関係の方の申し込みは、倉内までお願いします。

先着10人とさせていただきます。

携帯：080-1425-8167

メール：k-kurauchi@za.ztv.ne.jp

●締め切り

8/29 日曜日



<投稿>

(滋賀山友会・自然保護部 倉内)

風力発電計画のストップにご協力を！！

300年生きたブナの巨木林が風力発電で伐採されます！

自然豊かな森林を破壊して作ろうとされている風力発電計画のストップにご協力ください。

現在、福井県三方郡美浜町で、野坂山地の野坂岳～庄部谷山の尾根筋に風力発電所(20～25基の風力発電機)の設置が計画されています。この計画は、尾根筋にある樹齢300年以上にもなるブナの巨木を多数伐って作る、という深刻な自然破壊を伴うものです。

近年、豪雨が増え、洪水の被害が各地で多発していますが、ブナの森には雨水を吸収し、地下水として貯め、浄化しながら、ゆっくりと河川に流してくれる機能があります。洪水や土砂崩れを防ぐことから「緑のダム」と呼ばれています。

尾根筋の木を伐採することは、そうした森林が持つ多くの機能を奪い、下流の環境を破壊し、自然災害が増える原因を作ることになるのです。

ブナの林は、薪炭や木材、山菜、キノコ、イワナなどの魚、落ち葉による堆肥など、様々な恵みを私たちにもたらしてきました。私たちの祖先は、自然を守りながら、山の幸として、それらを利用する文化を地域ごとに育んできました。野坂山地は三方五湖などの観光地にも近く、福井県外からでも簡単に車で足を伸ばすことができるため、自然との触れ合いを求める京都、大阪などの近隣都市住民にも良質な自然環境を提供できる重要な地域資源です。

再生可能エネルギーの代替えはいくらでもありますが、地史・歴史を通して現在まで守られてきた豊かな自然の代替えはなく、一度破壊した自然の再生は極めて困難です。

本事業が実施されれば、単に伐採した樹木が失われるだけでなくこうしたブナの林の恵みの多くが失われることとなります。

現在、このブナの森には多くの希少動植物が生息しています。

特に鳥類では「種の保存法」に指定されているほど希少なイヌワシやクマタカの生息地であり、サシバ、ノスリ、ハチクマ(いずれも希少な猛禽類)の渡りの経路にもあたり、こうした渡り鳥たちがバードストライクで死亡する可能性が極めて高いです。

風力発電の寿命はわずか20年です。その後のことは何も決められていません。実際、1990年以降、国の補助で建設された風力発電は、今、一斉に寿命を迎えています。高額な撤去費用がネックになり、建て替えもされず、撤去もされず、放置される事例が報告されています。

私たちは風力発電の建設場所は環境に重大な影響を及ぼさない場所を慎重に選ぶべきだと考えます。

子どもや孫の世代に、よりよい自然環境を残したい、という私たちの思いを汲んでいただき、どうぞこの風

力発電計画をストップすることにご協力いただきますようお願いいたします。
現在進行中の協力手段の一つをご紹介します。

Change.org が掲載されました。(2021.06.10 朝日新聞に特集掲載されました)

<http://chng.it/XX6yWLQdw9>

★ 現地の映像もご覧いただけます。

★ ご覧いただいて、同意可能ならご賛同ください。

お知り合いの方に広めていただけるとありがたいです



2021.2.11



2021.5.3



2021.7.2



2021.7.2

計画予定の尾根で撮影した写真

《報告》

2021年7月度(第5回) ZOOM併用理事会 議事録

□日 時 7月7日(水) 午後7時～8時30分 明日都浜大津フリースペース

□出席理事 友永・池田・中島・古川・田中・川嶋・村田・山元・宮内(記録)

ZOOM出席 川口・平山

議題

1.全国連盟から登山学校主管の打診について ⇒⇒⇒ 結論:「辞退する」

6/3 友永会長からのメール「全国連盟より11月に開催予定の全国登山学校主管の打診がありました。全国の意向は山岳センターに宿泊して、人口壁とその周辺で行いたいそうです。滋賀県連には当日の運営をお願いするそうです。山岳センターの宿泊が可能かどうか確認したいと思います。次の理事会で可否を検討してください。出来れば前向きに検討していただければと思います。

古川:担当を教育遭対部とし、会長と協力し、具体案を検討されたらどうですか？

友永)山岳センターの宿泊は可能です。定員は50名ですが、コロナの感染の状況によっては半分にすることも知れません。人口壁の申し込みは講習会を受けた方が必要です。その時はお願いしようと思います。

宮内 教育遭難対策部が中心になってもらわないと進めないと思いますが。理事会だけで当日スタッフをするのも大変なことです。各会で「登山学校に」興味がある方にスタッフ応援してもらわないと主管を引き受けることは難しいと思います。以前2013年に全国自然保護集会を滋賀が主管で実施しましたが、その時は、理事として当日スタッフとして参加しただけでした。その当時中心で全国連盟との連絡等されていた方は大変だったと思います。

11月の予約状況とか確認されましたか いつまでに返事をするのでしょうか、宿泊等の予約は、全国連盟がするのですか、当日の運営スタッフを担当するだけと考えればいいのか？

教育遭難対策部の方の意見を聞かせてください。

村田「全国連盟から登山学校主管の打診について」水を差すような意見ですが、「コロナ」の動向が判らない現在、お断りすべきと考えます。

山元 登山学校主管の件、11月には状況が良くなるかもしれませんが今年は見送った方が良いでしょう。

田中 全国連盟の登山学校の件ですが、コロナ禍の中での宿泊を伴う活動に不安を感じています全国連盟との関係も大事だとは思いますが、出来ることならこの時期に主幹を務めるのは避けたい

中島 中島:協力できる技術を持っていないのでお手伝いしかできません。

ZOOM参加の川口・平山理事からも この状況下では、見送る方向でという意見であった。

2.登山祭典(10/24)について 日程は目安です

○8月号県連ニュースで10/24登山祭典の予告掲載する

○各会からコース決定 組織部山元理事から各会へ依頼文を送信する。提出期限 7/31

○ちらし作成 9月1日理事会で配布と郵送・HPアップ等

○各会の報告 県連ニュース12月号(11/15ㄨ切)に掲載。

3.清掃登山の報告

1. 県連ニュー7月号に実施報告(ゴミ量と参加人数)、12コースすべて掲載済。

2. 協力自治体・企業に6/15 報告書等郵送済

3. 会計報告

4. 次年度への申し送り事項として

○しおりに全国連盟のアピール文を掲載する。

○一般参加者の短期掛け捨てプラン保険をネット申請とネット送金で処理可能済。

○ちらしに関して

1.一般参加からの申し込みに対応するために、「70歳まで」と明記する

問い合わせがあった場合は、会の判断に任せる。会員の知り合いは別扱いとする。

2.協賛・後援・協力という表示を明確にする件。

協賛は、補助金をもらっている自治体・団体。後援は、名義のみ。

協力は、バス代等の支援。

4.各部からの報告

機関誌部・・・県連ニュース8月号(7/15ㄨ切)

○リレーエッセイ(岳友会・北村昌文) 表紙写真(岳友会・三崎さん)

自然保護部・・・7/10-11 第24回全国自然保護講座 京都府ゼミナールハウス

参加予定・中島理事・

組織部・・・交流登山ニュース原稿(山元)山友会 9/5 一般募集もするのでHPにもアップする

○6月末の会員数 記入をお願いします

山友会 58/58、岳友会 34/33、雪稜会 44/44、ちごゆり 16/16、彷徨 10/10、シャクナゲ 5/5

(男 30 女 28) (19+15) (26+18) (7+9) (6+4) (3+2)

合計 167/166 (2021.6/2021.5)

財政部・・・

教育遭対部・・・

その他 検討事項

1.. ヒアリハット事例研究会について

とりあえず、宮内が県連ニュースに案内を出してみる。

2. 国連盟の安全対策基金 2020 年度報告と 2021 年度申請受理 6/1(10 万円)

3.全国連盟の会議予定等の連絡事項

7/3-4 第3回全国救助技術交流集会 福岡県

覚え書きメモ

1.旧事務所にて保管していた備品は、活用、廃棄を吟味し、各会へ引き渡すなどしっかりと行っていきたい。

2.組織部から・・・県連 HP を今の時代に見合った見直しを図り、各会 HP も会員拡大を図れる

よう足掛かりとしていきたい。費用計上は難しいが何とか取り掛かっていきたい。
会員の中で出来る人を募集してみる。
県連のHPよりも、傘下会のHPが活発であれば、それで良しとも思う。
ダブルで情報をアップできるので、県連にも原稿を送ってください。

3.今年度の、今後の理事会の開催については、下記の2方式で開催していきます。

A) 議論・検討を必要とする内容の場合は、「Zoom 含む参加型会議」

B) 連絡だけで済ませることができる場合は、「メール配信型会議」

4. 名簿提出のお願い・・・遭難者などの探索のための情報収集に、県連所属の全会員の「氏名フルネーム、住所の一部(〇〇市まで)、
提出済 雪稜会・岳友会 未提出・山友会・彷徨・ちごゆり・シャクナゲ

8月は休会 次回理事会は、9/1(水) ZOOM併用会議
19時～20時30分 明日都浜大津フリースペース



『北陸新幹線巨大隧道工事と山岳自然環境』

—京都北山トンネル工事の環境破壊から自然を守る— 報告 自然保護部 中島英雄

2021年7月10日(土)～11日(日)

京都府立ゼミナールハウス「あうる京北」Art. Wood. Learn 日本語で「あうる」

主催：日本勤労者山岳連盟

主管：京都府勤労者山岳連盟

7月10日(土)

13:15 開会 司会は平尾繁和京都府連自然保護委員長

挨拶 主管府連 京都府連坪山芳樹理事長

〃 主催者 全国連盟浦添嘉徳理事長

1日目講演 『京都のまちと自然を壊す北陸新幹線・京都延伸』

講師 榎原義道さん(北山の自然と文化をまもる会代表)

2016年12月 与党の整備新幹線建設推進プロジェクトチームが小浜～京都ルートを正式採用した。小浜～京都～新大阪ルート140Kmで、その内80%はトンネルです。資料として京都丹波高原国定公園区域図や土地分類基本調査のカラーコピーをもらいました。その図で色分けしているのが何を示しているのかまったく分からないのがあり、(帰宅して調べたら水色の川かと思った地帯は「普通地域」と分かった) ルートは南丹市のかやぶきの里と芦生の森や右京区の方波川源流部を避けて南丹市の田歌(とおた)から南下。京都盆地に入ると地中深くのトンネルとなり京都駅部分は地上から掘り進む。伏見地域では酒蔵の方たちと協議もしているそうです。松井山手下付近で西に向きを変えて新大阪へ。地中深くの駅で標高は海面以下となります。トンネルは掘ってみなければヒ素などの重金属が出るか分からなし、地上での水枯れの発生も予想されます。その対策や保障は30年間だけだそうです。

各地方連盟からの報告

徳島県連 片山博之さんより 日本の風力発電施設の現状と課題

栃木県連自然保護部長 森 初芳さんより 避難小屋の維持管理と登山路整備について

静岡県連 竹本幸造委員長より リニア中央新幹線整備に係る大井川の水資源減少問題の概要

静岡県 リニア中央新幹線の概要と工事の進捗状況について 国土交通省の資料により報告

全国連盟自然保護委員 林 祥介さんより 高尾山天狗裁判の今昔

7月11日(日)

2日目講演 『北陸新幹線 敦賀-新大阪ルート建設計画がすすめられるとどうなるか?』

講師 長野宇規(たかのり)さん(知井の新幹線問題を考える有志の会代表)

資料としてニュース Vol.1(A3 カラー印刷)と Vol.2(A4 カラー印刷)をもらいました。

Vol.1では斜坑について、残土について、ダンプの残土運搬について、環境影響評価とは、騒音について、水枯れについての各説明が図や写真で示されていて、大変分かりやすかった。現地視察は中型観光バスを用意してくれていて、自家用車で参加のみなさんも全員乗

って移動しました。行った先は南丹市田歌。北には福井県境との山が、せまり麓には住居が、青い稲の田圃が広がっている由良川の源流です。講師の先生もここに住んでおられます。説明が始まると住民も1人、2人と聞きに来られる。最後に聞きに集まった人にマイクで挨拶をして頂きました。

バスの社内で「あうる京北」への帰途で閉会の挨拶を竹本幸造自然保護委員長よりあり、道の駅で30分程休憩後「あうる京北」で解散となった。私は隣に座ってくれた京都の参加者（女性）のと話しが出来て、少し刺激ももらった。その他近畿ブロックから参加の京都、大阪、奈良の代表へ「2021年関西電力株主総会ドキュメント」と清掃登山報告を渡した。

鉄道建設・運輸施設整備支援機構宛の署名用紙を預かっています。1枚に5人まで書けません。用紙を各会へ2枚ずつくらい届けますので、集めて、9月理事会に持参下さい。

知井の新幹線問題を考える有志の会ホームページアドレス

<https://miyama-no-shinkansen.net/>



南丹市田歌 由良川源流地域

ぐうたら会長のつぶやき

会長 友永芳和

一度収まりかけたコロナも東京では 1000 人を越える新規感染者を出しています。幸い滋賀では感染は抑えられているようです。今まで以上に感染対策をしっかりしていきましょう。以前も書きましたが山は三密にはなりません。交流登山や登山祭典も予定されています。登山口まではマスクの着用をして、山行中は少し距離をとって、不必要な会話はせずに、コロナを恐れず山行を実施していきましょう。今後も前向きに色々な活動をやっていければと思います。皆様のご協力をよろしくお願いします。

先日押し入れを整理していたら、ずっと昔に購入していた英会話の教材テープが出てきました。まだ捨ててなかったんだと思いました。せっかく出て来たので、今の教材とは比べ物にならないくらい非効率なものですが、この機会に 70 の手習いではありませんが再開してみました。9 本のうち 2 本目の途中まではやっていたようですが、すっかり忘れていましたので最初から始めました。テープは AB 面各 30 分で、ちょっとした時間で出来るように工夫はされています。レッスン 1 は比較的簡単で 10 分程度で終える事ができます。スピードもゆっくり目で聞き取りやすくなっていました。レッスン 2 は飛行機の中の会話で、「この席に座っていいですか」から始まって自己紹介まで、レッスン 1 に比べるとスピードも少し早くなって聞き取りにくくなっています。最初のテープにはレッスン 1～6 までが収められていて、逐次会話のスピードも早くなり、語彙も複雑になっています。レッスン 3 からは普通の会話スピードで聞き取る事が出来ません。何度も聞きながら発音を真似していきます。自分でも何を言っているか判らないのですが……。

一応レッスン 1～6 まで通して聴きながら発音を真似して進めています。レッスン 2 までは何とかがついていけますがレッスン 3 以降はまったく手に負えません。それでも 1 週間以上続けていますので「三日坊主」は防げたようです。ただ問題はほとんど忘れてしまうことです。昨日は出来たと思った発音が、今日はどんな発音だったか記憶が飛んでいます。これではいつになったらレッスン 6 までを終える事が出来るのだろうかと心配です。まあ～死ぬまでに出来れば良いのかなとのんびり続けようと思っています。この年になって何かに挑戦する事は良いことだとは思いますが、自分で思うほどは進める事は出来ないと言う事も思い知らされます。記憶力の低下、続けようとする意志を保つことの難しさ、なんでもすぐに諦めてしまう持続力の低下など、歳をとるとそれなりに衰えている事を思い知らされますネ。

少し話題は変わりますが、歳をとると個人差が大きくなるようです。抜群の記憶力を保っているオジイサンがいるかと思えば、私のように昨日の事も忘れてしまうオジイサンもいるし、若い人に負けないくらいの体力を保っている人もいれば、私のように酒を飲む体力以外はまったく衰えてしまった人もいます。皆さんは少しでも若さを保つ事を何かしていますか？

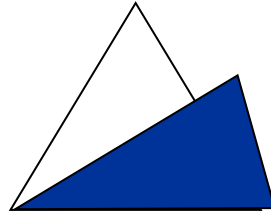
行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
				1	オールラウンド例会・伊吹山	山友
	1	比良白滝谷(CSS)沢登り		1	白滝山 沢登り	岳友
				6-9	北アルプス雲の平～黒部五郎岳	彷徨
				6-10	南アルプス聖岳～池口岳	彷徨
				11-14	東北 朝日連峰	彷徨
				15	ハイキング部例会「小谷山」	山友
8				13-17	皇海山 榛名山	彷徨
				20-21	別山	雪稜
	21-22	ステップアップ登山講座2021(3)		20～22	越百山 テント泊	岳友
		八ヶ岳・南稜～阿弥陀岳		20～22	南アルプス 早川尾根	彷徨
				未定	ソーメン山行(神爾谷)	ちご
	1	理事会(明日都浜大津ZOOM併用)		5	交流山行・西方ヶ岳～サザエヶ岳	岳友
				5	交流山行「野坂山地・黒谷山」(予備日9/12)	山友
				12	交流山行 若狭町 千石山	彷徨
				19	ハイキング部例会「湖北・武奈ヶ嶽」	山友
9	17-20	ステップアップ登山講座2021(3)		17～20	北穂～奥穂高岳	岳友
		北アルプス・横尾本谷～槍ヶ岳		18～20	例会「谷川連峰・平標山・苗場山」	山友
	18	北小松しし岩岩トレ(CSS)		25	秋山集中	山友
				23-25	南アルプス深南部 黒法師三山	彷徨
				23-26	妙高焼山～火打山	彷徨
				26	雨乞岳	雪稜
	2	金毘羅山岩トレ(CSS)				
	6	メール理事会				
	8-10	ステップアップ登山講座2021(4)		15-18	北アルプス 笠が岳	彷徨
		奥秩父・笛吹川東沢～甲武信ヶ岳		17	ハイキング部例会	山友
				16-17	比良―武奈ヶ岳 テント泊	岳友
10				24	登山祭典「釣瓶岳」	山友
				24	登山祭典	雪稜
				24	登山祭典	岳友
				24	登山祭典「比良比叡トレイル」	彷徨
	24	登山祭典		24	登山祭典	ちご
				24	登山祭典	シャク
	29-31	ステップアップ登山講座2021(5)		30	ダイトレ(滝畑ダム～岩湧山)	彷徨
		南アルプス深南部・犬切尾根～池口岳				

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀



2021年9月号の原稿は、8月15日〆切です。

原稿の投稿先は 古川 tfurukawa@dj8.so-net.ne.jp

村田 k-hiyake@hera.eonet.ne.jp

用紙サイズは A4、フォントは本文 11~12、タイトル 14~16、

余白は上下左右 19mmとし、

使用する写真は 200KB 以内としてください。

皆様のご協力をお願いいたします。

『県連ニュース 2021 年8月号』 NO.529

発行日：2021年7月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

TEL 080-4971-6231

〒520-0047

Email shigarosan@gmail.com

大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1F

ゆうちょ銀行(店名418)

大津市市民活動センタースモールオフィス内

普通 0239956

メールボックス NO13

<http://shigarousan.jimdo.com/>

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 古川 哲郎 村田 啓二